

## (仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について

### 1 経過

- 平成 36 年の第 79 回国民体育大会および第 24 回全国障害者スポーツ大会の開・閉会式および陸上競技大会の会場を整備するため、隣接する金亀公園(彦根市管理)の区域を拡張し、現在の県立彦根総合運動場を第 1 種陸上競技場を備えた都市計画公園として再整備
- 平成 27 年 12 月から公園整備基本設計業務に着手し、公園の骨格となる施設配置、諸施設の形状、基盤施設、植栽等についての概略の設計を実施
- 平成 28 年 3 月末に Jリーグ等から「彦根地域では Jクラブが経営できる立地条件ではない」との考え方が示されたことを踏まえ、彦根城など周辺の歴史的・文化的な景観と調和した施設整備について、(仮称)彦根総合運動公園第 1 種陸上競技場建築検討懇話会(全 3 回開催)や県サッカー協会の意見を伺いながら、第 1 種陸上競技場の建築基本設計条件(案)を検討

### 2 (仮称)彦根総合運動公園整備基本設計(案)の概要

#### (1) 公園面積

約 21.8ha

#### (2) 主な施設

第 1 種陸上競技場(400m×9レーン)、第 3 種陸上競技場(400m×8レーン)、  
庭球場(12面)、緑の広場、駐車場(約 1,100 台)、駐輪場(約 380 台)

※別添(仮称)彦根総合運動公園整備基本設計の概要(案)参照

#### (3) 概算経費

200 億円程度の見込み(今後の公園整備実施設計や建築基本設計等の過程でさらに精査)

※内訳	第 1 種陸上競技場整備費	106 億円程度
	その他公園整備費、用地補償費等	94 億円程度

### 3 第 1 種陸上競技場の建築基本設計条件(案)について

#### (1) 基本コンセプト

- ① 誰もが利用したくなる競技場
- ② 歴史的・文化的な景観に配慮した競技場
- ③ 周辺地域に配慮し、長く愛される競技場
- ④ 安全・安心な競技場

#### (2) 第 1 種陸上競技場の規模

- ① 延べ床面積 約 23,000 m<sup>2</sup>
- ② 収容人員 15,000 人以上(芝生席を含む。)
- ③ 固定席数 メインスタンドに約 7,000 席を整備
- ④ スタンド屋根 メインスタンド、バックスタンドに屋根を設置
- ⑤ 照明設備 両スタンドの屋根に照明設備を整備(照明柱は設置しない。)
- ⑥ 諸室 更衣室、雨天走路、用器具庫、放送室、指令室、写真判定室、情報処理室、医務室、ドーピング検査室、ウェイト・トレーニング室、記者室など

### (3) 設計にあたっての主な留意事項

- ① 彦根城をはじめとする歴史的な景観との調和
  - ・競技場の高さを抑えること。
  - ・競技場の周囲を樹木で囲んでボリューム感を抑えること。
  - ・彦根城との連続性を考慮すること。
  - ・彦根城天守から見下ろした際に競技場が突出しないこと。
- ② 彦根城天守からの景観に配慮した屋根の構造
  - ・景観上支障となる照明柱をなくすため、スタンド両側とも屋根を架設し、屋根先に照明設備を設置すること。
  - ・スタンド全面に屋根を架設することで座席等を隠すなどデザインについて、十分検討すること。
- ③ 周辺地域の景観や生活環境に配慮した照明設備
  - ・照明柱は設置しないこと。
  - ・両側スタンドとも光害の抑制が可能となる屋根先照明とすること。
- ④ 周辺地域に馴染む色
  - ・周辺地域の豊富な自然に溶け込む色とすること。
  - ・明度や彩度を低く抑え、彦根城を尊重する色とすること。
  - ・外壁や屋根だけでなく、フィールドや座席等、競技場全体の色彩に配慮すること。
- ⑤ 自然素材の使用
  - ・擬石や擬木より本物の素材（自然素材）をできるだけ使用すること。
  - ・屋内仕上材等に県産材をできるだけ使用すること。
- ⑥ 公園整備との整合性
  - ・建築と公園の整合がとれた景観とすること。

### 4 《住民参画》 みんなで考える公園づくりワークショップについて

新しい公園の使い方、楽しみづくりについて住民の皆さまからいただいたアイデアや意見を、より良い公園づくりに活かす。

#### (1) ワークショップ開催状況

回	日時	場所	テーマ
1	平成 28 年 6 月 18 日(土) ・17名参加	彦根総合運動 場スイミングセンター 大会議室	新しい公園でこんな事ができたらいいな
2	平成 28 年 7 月 23 日(土) ・7名参加		イメージをふくらませよう
3	平成 28 年 8 月 27 日(土) ・9名参加		こんな公園づくりをめざそう《取りまとめ》

#### (2) 主な意見

- ・専門的な競技スポーツだけでなく、県民が日常的にスポーツを気軽に楽しめる。
- ・いろいろな人が日常的にふらっと立ち寄り楽しめる。
- ・スポーツ教室、朝市、飲食イベント、防災訓練など様々なイベントが開催される。
- ・観光ルートに含み、観光客やサイクリングの人が立ち寄って楽しめる。
- ・彦根城や伊吹山、佐和山など歴史や自然景観が感じられる。
- ・ナイター設備を活用し、夜もスポーツができる。
- ・散歩やウォーキングをする。
- ・東側駐車場の一部を日常広場として利用できるとよい。
- ・金亀公園と一体的に利用する。

## 5 今後の予定

平成 28 年

- ・ 9 月末
- ・ 10 月頃
- ・ 10 月～

平成 29 年

- ・ 2 月頃

公園整備基本設計、建築基本設計条件の取りまとめ

滋賀県都市計画審議会付議（予定）

公園整備実施設計、第 1 種陸上競技場基本設計の発注手続開始

公園整備実施設計、第 1 種陸上競技場基本設計の契約予定